



Rycote Tac!T（発音は“Tas-It”）フィルターは、インライン型の約60Hzで“3rdオーダー（18dB/オクターブ）アクティブ“Knee（膝）”フィルターです。これは実質的に望むオーディオに影響を与えずパスしますが、一方風切音やハンドリングノイズ、そしてフロアからの振動ノイズを非常に良く低減します。これらの極端な低周波や超低周波音のエネルギーは、非常に高く、もし低減させなければ、全てのオーディオスペクトル全体で、オーバーロードと歪を引き起こします。

Tac!T フィルターは、P48 ファンタム電源で動作しますが、マイクロフォンにもその電源をパスします。それは電子的に対称型で、マイク回路固有のバランスを妨げませんし、通常のプログラム周波数になんら信号ロスも与えません。

Tac!T フィルターの特徴は、Neutrik XX-シリーズ XLR コネクタボディ内に完全に納まっているということです。それはスイッチで ON/OFF ができません、そして電子のバッファー回路は、そのパフォーマンスが一般的な使用において、ほとんどすべてのファンタム電源で動作するマイクロフォンとプリアンプの調和を保証します。

Tac!T は、完全に対称型バランスの 3rd オーダーフィルターです。それは、ファンタムパワーならびにシグナルを連結させることができるように、DC パスを備えています。

レコーダーまたはミキサーの P48 供給からの電流は、どれくらい必要ですか？

電流は回路を動作させるために必要です。デバイスは電流を必要としないダイナミックマイクでは、動作しません。実際の電流は使われる負荷によって変化しますので、消費電流を記載することができません。回路そのものの使用電流は非常に低く、そして、IEC 26815 準拠の P48 供給であれば、ぜんぜん問題ありません。

極端に消費電流の大きな（例えば Earthworks のように 10mA フルに必要としている）マイクや、十分な電流を供給できないファンタムパワリング、または著しく低い電圧では問題が起きるかもしれません。起りそうな結果は、最大 SPL などに関するマイクロフォン性能の低下、または損傷よりもむしろ自己雑音の増加です。

ミキサーのフロントエンドのフィルターは通常 6 または 12dB/オクターブで、これらは超低周波音や極端な低周波雑音のカットのために設定した望む周波数より高い周波数に、より大きな損失を与えます。より急傾斜の 3rd オーダーフィルター（18dB/oct）の方が、より効果的です。そういうわけで、Schoeps Cut 1 と類似したフィルターが、多くの録音技師に好まれている由縁です。場合によっては、内部のフィルターは、トランスや最初のアンプ段の後でも適応します—その場合、回路のこれらの部分は内部 HPF が動作する前に、オーバーロードしてしまいます。トランスの入力は、特に超低周波音のオーバーロードに影響されやすいです。

Tac!T は、ダブルスロープ HPF としてミキサー内蔵のフィルタと一緒に使用することもできますが、おそらく、LF カット機能がまったく提供されていない、カメラ入力のようなアプリケーションで、最も大きな真価を発揮します。



Tac!T FILTER TYPICAL PERFORMANCE

Signal loss

0dB @ 1kHz,

-3dB @ 63Hz,

-40dB @ 14Hz

Introduced noise (22Hz -22kHz) - 1.5dB

Max signal level +3dBu (<0.2% distortion)

SPECIFICATIONS

Cable Length: 45cm (18")

Cable diameter: OD 4.8 mm

Connectors: Neutrik® XX series, XLRm3* to female XLRf3, Black casing, gold pins

Cable Type: Ultra flexible Mogami® W2893 star-quad cable

〒107-0062 東京都港区南青山 1-1-1
ゼンハイザージャパン株式会社
info@sennheiser.co.jp